

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／国内／株式
信 託 期 間	原則として無期限（設定日：2005年10月28日）
運 用 方 針	ソフトバンク＆SBIグループ株式・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。
主要運用対象	当ファンド（ベビーファンド） ソフトバンク＆SBIグループ株式・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資することもあります。
	マザーファンド わが国の金融商品取引所の上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式を主な投資対象とします。
組 入 制 限	当ファンド（ベビーファンド） 株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。
	マザーファンド 株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。
分 配 方 針	毎決算時（毎年10月27日。ただし、休業日の場合は翌営業日。）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。経費控除後の配当等収益（繰越分及びマザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）及び売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額）等の全額とします。委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘査して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設げず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

# 運用報告書（全体版）

第20期

（決算日：2025年10月27日）

## ソフトバンク & SBIグループ 株式ファンド 特化型

追加型投信／国内／株式

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「ソフトバンク＆SBIグループ株式ファンド」は、2025年10月27日に第20期決算を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

### SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9:00～17:00



ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。  
<https://www.sbi-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期 (分配落)	基準価額		株式組入比率	純資産額
	税込み分配金	期中騰落率		
16期(2021年10月27日)	円 20,226	円 0	% 12.0	% 96.7 百万円 1,095
17期(2022年10月27日)	17,370	0	△ 14.1	95.7
18期(2023年10月27日)	18,643	0	7.3	95.8
19期(2024年10月28日)	24,084	0	29.2	95.1 1,190
20期(2025年10月27日)	37,279	0	54.8	95.5 2,404

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは、ソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式（以下、「ソフトバンク&SBIグループ株式」といいます。）に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指標等は採用していません。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式組入比率
		騰落率	
(期首) 2024年10月28日	円 24,084	% —	% 95.1
10月末	24,770	2.8	95.1
11月末	24,454	1.5	95.3
12月末	25,139	4.4	94.5
2025年1月末	26,154	8.6	96.0
2月末	25,917	7.6	95.2
3月末	25,168	4.5	93.9
4月末	25,549	6.1	94.8
5月末	26,587	10.4	94.2
6月末	29,569	22.8	94.4
7月末	30,690	27.4	95.4
8月末	33,384	38.6	95.5
9月末	34,121	41.7	93.5
(期末) 2025年10月27日	37,279	54.8	95.5

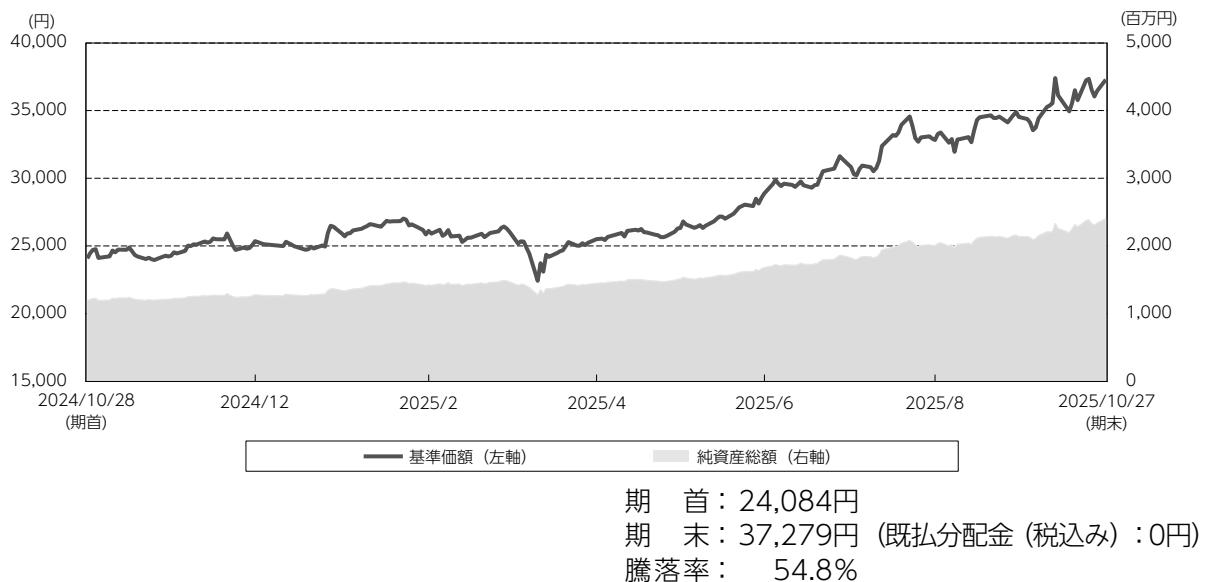
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指標等は採用していません。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。

## ■当期の運用状況と今後の運用方針（2024年10月29日から2025年10月27日まで）

### ○基準価額等の推移



(注1) 当ファンドは、ソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式（以下、「ソフトバンク&SBIグループ株式」といいます。）に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指標等は採用していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため、分配金再投資基準価額は記載していません。

### ○基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因

- ・国内企業業績の好調持続
- ・米国の消費者物価指数（CPI）の伸び鈍化による米国金融政策の緩和への期待
- ・賃上げ、インバウンドなど国内景気の好調持続
- ・新たな少額投資非課税制度（NISA）の開始

#### 下落要因

- ・米国の関税問題のグローバルな企業活動への悪影響の増大
- ・米国のインフレ率高止まりによる米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ期待の後退
- ・中国景気の低迷による世界的な需要不足への懸念
- ・ウクライナ情勢、中東情勢の緊迫化により、リスク回避が強まったこと

## ○投資環境

当期の株式市場は、通期で上昇しました。当期の日経平均株価は38,100円近辺から始まり、2024年11月の米大統領選挙でトランプ氏が勝利するとともに、上下院とも共和党が過半数を獲得したことから、新政権への期待で米国株が上昇したこと、日本株の支援材料となり、年末には日経平均株価は40,000円を超える水準まで上昇しました。年明けには、日銀が金融政策の正常化のもと、利上げを実施し円高傾向となつたことと、中国のAI企業「ディープシーク」が低コストのAIモデルを発表すると、これまでAI相場を牽引した半導体関連が下落し、上値の重い展開となりました。

2025年2月に入ると、米国のトランプ大統領がメキシコ、カナダ、中国に追加関税を課すとの政策を発表すると、日本株も大きく下落し、その後も関税問題が株価に大きな影響を与える相場展開となりました。その後、国内の貨上げの動きなど国内景気回復の動きと好調な企業業績に支えられ、3月末は38,000円台まで回復しました。しかし、4月2日にトランプ大統領が、相互関税、全世界一律10%、日本に対しては24%と発表すると、世界的なリスクオフの動きが強まり、日本株は大きく下落し、4月7日には31,000円割れとなりました。ただし、その直後に相互関税を90日間停止すると、大きくリバウンドし、回復基調に転じました。

7月にはトランプ関税の先行きへの不透明感が強まる中、20日の参議院選挙において与党が敗北し、市場の動搖も高まりましたが、直後の23日、日米関税交渉において、自動車を含め15%で合意したことが発表されると、ムードが一変、上昇基調を強めました。8月初に発表された米国雇用統計は予想以上に悪化しましたが、今回の雇用統計の悪化は早期の利下げ再開につながるとの見方から冷静に受け止められ、実際にジャクソンホールでのパウエルFRB議長のハト派的な発言により、利下げ再開の期待が高まりました。9月に入ると石破首相の辞任発表による政局不安があったものの、米国の利下げ再開によるグローバルな株式市場の上昇と根強いAI関連への成長期待により、日経平均株価、TOPIXともに史上最高値を更新するなど、力強い上昇となりました。10月初旬の自民党総裁選で高市氏が新総裁に選出されると、新政権による財政出動の期待から一段高となり、日経平均株価は50,512.32円で期末を迎えました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### <当ファンド>

ソフトバンク & S B I グループ株式・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

### <ソフトバンク & S B I グループ株式・マザーファンド>

ソフトバンクグループ、S B I ホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資することを運用目的としています。組入比率は、投資信託説明書（目論見書）に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例して決定し、3ヶ月ごとに組入比率の再調整を行いました。

当期の組入銘柄につきましては、LINEヤフーのウェイト上昇により、5%を上回る銘柄数が、従来の4銘柄から5銘柄に増加したことから、投資方針に基づき1銘柄の組入比率の上限を25%から20%に変更し、リバランスを実施しました。また、前期、今期予想が赤字になった出前館を、収益性の観点から売却しました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、ソフトバンク & S B I グループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指標等は採用しておりません。

## ○分配金

当期の収益分配金につきましては、運用の効率性等を勘案し、見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかつた利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第20期
	2024年10月29日～ 2025年10月27日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	27,278

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

### <当ファンド>

引き続き当ファンドの基本方針に基づき、ソフトバンク＆SBIグループ株式・マザーファンドを通じて、ソフトバンク＆SBIグループ株式に投資します。

### <ソフトバンク＆SBIグループ株式・マザーファンド>

引き続きソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式に投資します。組入比率は、投資信託説明書（目論見書）に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例（1銘柄の組入比率の上限は概ね20.0%）して決定し、3ヵ月ごとに組入比率の再調整を行います。

## ○ 1万口当たりの費用明細

(2024年10月29日～2025年10月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 30 ( 12) ( 12) ( 6)	% 0.110 (0.044) (0.044) (0.022)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料  (株 式)	10  ( 10)	0.038  (0.038)	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権 口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に 支払う手数料
(c) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (印 刷 刷)	29 ( 10) ( 19)	0.105 (0.036) (0.069)	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	69	0.253	
期中の平均基準価額は、27,625円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しております。

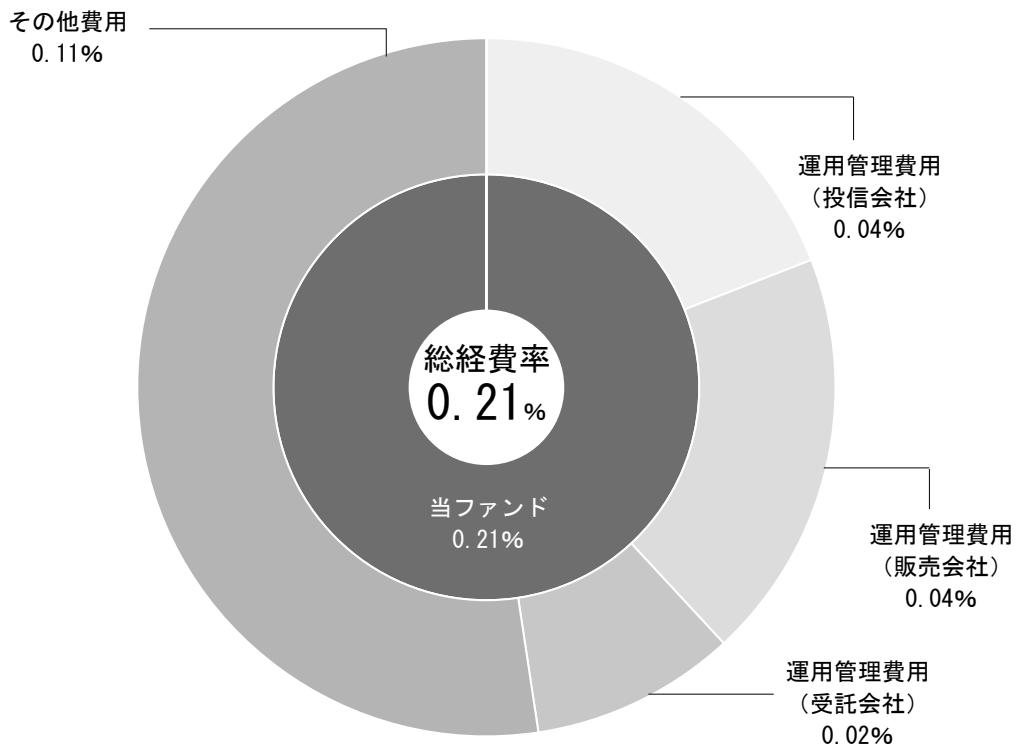
(注4) 売買委託手数料及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.21%です。



(注1) 上記費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2024年10月29日～2025年10月27日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定期		解約	
	口数	金額	口数	金額
ソフトバンク＆SBIグループ株式・マザーファンド	千口 395,354	千円 1,354,800	千口 268,523	千円 918,400

(注) 単位未満は切捨て。

## ○株式売買比率

(2024年10月29日～2025年10月27日)

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	ソフトバンク＆SBIグループ株式・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	2,350,167千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,469,378千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.59

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2024年10月29日～2025年10月27日)

### 利害関係人との取引状況

該当事項はありません。

### 利害関係人の発行する有価証券等

#### <ソフトバンク＆SBIグループ株式ファンド>

該当事項はありません。

#### <ソフトバンク＆SBIグループ株式・マザーファンド>

種類	買付額	売付額	当期末保有額
株式	百万円 291	百万円 —	百万円 479

### 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはSBIグローバルアセットマネジメント株式会社、SBIホールディングスです。

## ○組入資産の明細

(2025年10月27日現在)

### 親投資信託残高

銘 柏	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド	千口 420,839	千口 547,670	千円 2,406,408

(注) 単位未満は切捨て。

マザーファンドにおける組入資産の明細につきましては、後述のマザーファンドの「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2025年10月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド	千円 2,406,408	% 99.7
コール・ローン等、その他	7,347	0.3
投 資 信 託 財 産 総 額	2,413,755	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年10月27日現在)

項目	当期末
(A) 資産	2,413,755,122円
コール・ローン等	16,587
ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド(評価額)	2,406,408,535
未収入金	7,330,000
(B) 負債	9,046,553
未払解約金	7,318,523
未払信託報酬	1,011,930
その他未払費用	716,100
(C) 純資産総額(A-B)	2,404,708,569
元本	645,063,859
次期繰越損益金	1,759,644,710
(D) 受益権総口数	645,063,859口
1万口当たり基準価額(C/D)	37,279円

<注記事項 (運用報告書作成時には監査未了) >  
(貸借対照表関係)

期首元本額	494,507,282円
期中追加設定元本額	466,408,968円
期中一部解約元本額	315,852,391円

## ○損益の状況 (2024年10月29日～2025年10月27日)

項目	当期
(A) 有価証券売買損益	651,262,222円
売 買 売 買	766,035,232 △ 114,773,010
(B) 信託報酬等	△ 3,361,016
(C) 当期損益金(A+B)	647,901,206
(D) 前期繰越損益金	152,008,371
(E) 追加信託差損益金	959,735,133
(配当等相当額) (売買損益相当額)	( 647,709,192) ( 312,025,941)
(F) 計(C+D+E)	1,759,644,710
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	1,759,644,710
追加信託差損益金	959,735,133
(配当等相当額) (売買損益相当額)	( 649,958,664) ( 309,776,469)
分配準備積立金	799,909,577

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(33,253,954円)、費用控除後の有価証券等損益額(614,647,252円)、信託約款に規定する収益調整金(959,735,133円)および分配準備積立金(152,008,371円)より分配対象収益は1,759,644,710円(10,000口当たり27,278円)ですが、当期に分配した金額はありません。

## ○お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。

(変更適用日：2025年4月1日)

### <当該約款変更について>

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更され、書面交付またはデジタル交付いずれかを選択できるようになりました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全等、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。

今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供ができるよう整備してまいります。

# 第20期 運用報告書

(決算日 2025年10月27日)

## ソフトバンク＆SBIグループ株式・マザーファンド

### 受益者のみなさまへ

ソフトバンク＆SBIグループ株式・マザーファンドの第20期（2024年10月29日から2025年10月27日まで）の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは、次の通りです。

運用方針	本ファンドは、わが国の金融商品取引所の上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式（以下、「ソフトバンク＆SBIグループ株式」といいます。）を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	わが国の金融商品取引所の上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式を主な投資対象とします。
組入制限	株式の投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		株式組入比率	純資産総額
	期中騰落率	%		
16期(2021年10月27日)	円 23,259	% 13.1	% 97.1	百万円 1,091
17期(2022年10月27日)	20,161	△ 13.3	96.0	927
18期(2023年10月27日)	21,849	8.4	95.3	929
19期(2024年10月28日)	28,330	29.7	95.0	1,192
20期(2025年10月27日)	43,939	55.1	95.4	2,406

(注1) 当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指標等は採用していません。

(注2) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式組入比率
	騰落率	%	
(期首) 2024年10月28日	円 28,330	% —	% 95.0
10月末	29,138	2.9	95.1
11月末	28,774	1.6	95.2
12月末	29,588	4.4	94.5
2025年1月末	30,791	8.7	95.9
2月末	30,516	7.7	95.2
3月末	29,638	4.6	93.8
4月末	30,090	6.2	94.8
5月末	31,318	10.5	94.2
6月末	34,836	23.0	94.4
7月末	36,162	27.6	95.3
8月末	39,340	38.9	95.4
9月末	40,214	41.9	93.5
(期末) 2025年10月27日	43,939	55.1	95.4

(注1) 謄落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指標等は採用していません。

(注3) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

## ■当期の運用状況と今後の運用方針（2024年10月29日から2025年10月27日まで）

### ○運用経過



当マザーファンドの基準価額は、期首28,330円から始まったあと、期末には43,939円となりました。期を通じて騰落率は55.1%の上昇となりました。

	期首	期中高値	期中安値	期末
日付	2024/10/28	2025/10/9	2025/4/7	2025/10/27
基準価額 (円)	28,330	44,094	26,418	43,939

### 【組入上位10銘柄】

(2025年10月27日現在)

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
1	ソフトバンクグループ	情報・通信業	円	日本	19.7%
2	L I N E ヤフー	情報・通信業	円	日本	19.5
3	ソフトバンク	情報・通信業	円	日本	19.3
4	S B I ホールディングス	証券、商品先物取引業	円	日本	19.3
5	Z O Z O	小売業	円	日本	13.1
6	アスクル	小売業	円	日本	1.4
7	S B I グローバルアセットマネジメント	サービス業	円	日本	0.7
8	S B I リーシングサービス	証券、商品先物取引業	円	日本	0.5
9	S B I アルビ	その他金融業	円	日本	0.4
10	S B I インシュアランスグループ	保険業	円	日本	0.4
組入銘柄数		16銘柄			

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、P16に記載しています。

(注3) 国(地域)につきましては発行国を表示しています。

## ○当ファンドのポートフォリオ

---

ソフトバンクグループ、SBIホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資することを運用目的としています。組入比率は、投資信託説明書（目論見書）に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行いました。

当期の組入銘柄につきましては、LINEヤフーのウェイト上昇により、5%を上回る銘柄数が、従来の4銘柄から5銘柄に増加したことから、投資方針に基づき1銘柄の組入比率の上限を25%から20%に変更し、リバランスを実施しました。また、前期、今期予想が赤字になった出前館を、収益性の観点から売却しました。

## ○今後の運用方針

---

引き続きソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式に投資します。組入比率は、投資信託説明書（目論見書）に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例（1銘柄の組入比率の上限は概ね20.0%）して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行います。

## ○1万口当たりの費用明細

(2024年10月29日～2025年10月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売買委託手数料  (株 式)	円 12 (12)	% 0.038 (0.038)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数  ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
合 計	12	0.038	
平均基準価額は、32,533円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ○売買及び取引の状況

(2024年10月29日～2025年10月27日)

### 株式

内 国	上場	買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
		千 株	千 円	千 株	千 円
		2,063 (57)	1,384,642 (一)	1,125	965,524

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ( ) 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2024年10月29日～2025年10月27日)

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	2,350,167千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,469,378千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.59

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2024年10月29日～2025年10月27日)

### 利害関係人との取引状況

該当事項はありません。

### 利害関係人の発行する有価証券等

種類	買付額	売付額	当期末保有額
株式	百万円 291	百万円 —	百万円 479

### 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはSBIグローバルアセットマネジメント株式会社、SBIホールディングスです。

## ○組入資産の明細

(2025年10月27日現在)

### 国内株式

銘柄	期首(前期末)		当期末	
	株数	株数	評価額	
情報・通信業 (61.6%)	千株	千株	千円	
出前館	7.9	—	—	
メディカル・データ・ビジョン	2.4	10.4	4,825	
プロードバンドセキュリティ	0.3	1.2	1,758	
L I N E ヤフー	425.1	1,030.6	468,923	
ソフトバンク	2,041.9	2,114.6	465,634	
ソフトバンクグループ	41.2	18.6	473,742	
小売業 (15.3%)				
アスクル	5.7	23.4	33,930	
Z O Z O	17.9	232.6	316,336	
銀行業 (-%)				
住信SBIネット銀行	9	—	—	
証券、商品先物取引業 (20.9%)				
S B I レオスひふみ	6.1	20.6	4,346	
S B I リーシングサービス	0.5	2.1	10,983	
S B I ホールディングス	18	68.6	463,804	
保険業 (0.4%)				
S B I インシュアラ NS グループ	1.5	6.5	9,360	

銘柄	期首(前期末)		当期末	
	株数	株数	評価額	
その他金融業 (0.4%)	千株	千株	千円	
S B I アルヒ	2.7	11.7	9,453	
サービス業 (1.4%)				
アイティメディア	1.3	5.5	8,948	
バリューコマース	2	9	6,534	
S B I グローバルアセットマネジメント	5.3	26.8	16,080	
イーエムネットジャパン	0.2	1	912	
合計	株数・金額	2,589	3,583	2,295,571
	銘柄数<比率>	18	16	<95.4%>

(注1) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 合計欄の( )内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切捨て。ただし、株数が単位未満の場合は小数で記載。

(注4) -印は組入れなし。

## ○投資信託財産の構成

(2025年10月27日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 2,295,571	% 95.1
コール・ローン等、その他	118,146	4.9
投資信託財産総額	2,413,717	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年10月27日現在)

項目	当期末
(A) 資産	2,413,717,655円
コール・ローン等	104,585,403
株式(評価額)	2,295,571,820
未収配当金	13,559,430
未収利息	1,002
(B) 負債	7,330,000
未払解約金	7,330,000
(C) 純資産総額(A-B)	2,406,387,655
元本	547,670,301
次期繰越損益金	1,858,717,354
(D) 受益権総口数	547,670,301口
1万口当たり基準価額(C/D)	43,939円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	420,839,694円
期中追加設定元本額	395,354,013円
期中一部解約元本額	268,523,406円
期末における元本の内訳	
ソフトバンク＆SBIグループ株式ファンド	547,670,301円

## ○損益の状況 (2024年10月29日～2025年10月27日)

項目	当期
(A) 配当等収益	33,426,374円
受取配当金	33,135,990
受取利息	290,384
(B) 有価証券売買損益	744,305,045
売買益	792,902,568
売買損	△ 48,597,523
(C) 当期損益金(A+B)	777,731,419
(D) 前期繰越損益金	771,416,542
(E) 追加信託差損益金	959,445,987
(F) 解約差損益金	△ 649,876,594
(G) 計(C+D+E+F)	1,858,717,354
次期繰越損益金(G)	1,858,717,354

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。